

みどりの
相談所の
先生に聞く

園芸ワンポイント

指導:戸辺広二先生

みどりに関する相談は
塚山公園 みどりの相談所

☎03-3302-9387

杉並区下高井戸5-23-12

毎週日曜日(第5日曜日を除く)

午前9時30分~正午、午後1時~4時30分



ポインセチア

トウダイグサ科トウダイグサ属

常緑低木

メキシコ原産



由来

アメリカ人の初代メキシコ大使ジョエル・ロバーツ・ポインセットが、自生しているポインセチアを持ち帰り普及させました。

日本に伝わったのは、明治時代の中頃です。

緑の葉(永遠の命)、赤い苞(葉が変化したもの)、白い樹液(純潔)のクリスマスカラーを持つ、ポインセチア。赤い苞はキリスト誕生の地へと導いたベツレヘムの星を象徴しているとされています。

特徴

冬の定番植物ですが、寒さに弱く、気温15℃以上を保つ必要があります。例えば、春夏は屋外、秋冬は室内で管理します。

また、短日性(※1)の植物なので、8月下旬以降、約60日間夕方5時から朝8時頃まで段ボールなどをかぶせ、暗くします。

※1 短日性:日光を浴びる時間が短くなると花芽をつけること



水遣り

土が乾いたら水遣りをしましょう。また、冬は水遣りを控えるようにして、与えるときは人肌の温かさにしてください。

肥料

冬は肥料を与えないようにしましょう。肥料は、5~11月は2週間おきに液体肥料を与えるとよいでしょう。

栽培カレンダー

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水やり	控えめな水やり(12月~3月)			積極的な水やり(4月~11月)								
肥料					2週間おきに液体肥料を与える(5月~11月)							
剪定				花が終わったら剪定する(3月~6月)			必要に応じ摘心する(7月~9月)					
植え替え				根鉢の1/3を切り落とし用土を入れ替え(3月~6月)			根を傷つけないよう植え替えるが、増し土のみにする(7月~9月)					

寒さ対策

霜にあたるとすぐに枯れてしまいますので、室内で15℃以上を保てる風通しのいい場所に移動しましょう。

また、暖房の近くは乾燥した風が当たり、傷めてしまう原因になりますので避けましょう。

剪定

花の終わった3~6月に形を整え、腋芽(※2)のある1~3芽まで切り詰めます。必要であれば、7~9月に摘心(※3)します。

※2 腋芽:葉と茎の付け根にある芽

※3 摘心:芽を取り除く作業

植え替え

①3月~6月の場合

根鉢の1/3を切り落とし新しい用土に取り替えます。

腐った根は取り除きます。

②7月~9月の場合

根を傷つけないようにして植え替えるか、増し土(※4)のみします。

※4 増し土:新しい土を足すこと

増やし方

挿し木の種類「密閉挿し」をおすすめします。赤玉土を浸水した後、ビニールポットに分けます。穂木はよく洗った後、長さ2~3cmにして赤玉土に挿します。

ビニール袋をかけて外れないように紐で結び、明るい日陰で3~4週間経過すると、発根し活着します。

気を付けること

白い樹液は、かぶれたり、かゆみが出る方もいますので、手袋を着用するとよいでしょう。もし、樹液が肌についた場合はすぐに流水で洗い流してください。



1~3芽までのところで短く切り詰め

編集後記

「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

昔から親しまれてきた、井草八幡宮の取材でした。古い歴史とうっそうとした緑に囲まれた素晴らしい環境、より大切にしなければと、ひしひしと感じました。(原)

この春、サンショウの小さな苗木を植えました。もちろん”食べられるサンショウ”です。まだ葉も少なく弱々しいので、アゲハ達には分けてあげません。大事に育てて、来年のタケノコの季節に楽しもうと思っています。(松)

今年は梅雨の入りが2週間遅れました。

そのせいではないと思いますが、草や木の花々が早く開花しているのにびっくりしています。(山)

1年ぶりに、編集委員会出席するも、浦島太郎の?感覚にて復帰出来ず(小)



みどりの新聞 みどりとひと182号 令和6年7月20日発行

編集/みどりのボランティア

編集・発行/杉並区都市整備部みどりの公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111

「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。 <https://www.city.suginami.tokyo.jp/>

